

令和7年度永年勤続医療従事者表彰式



理事 稲富 仁



去る11月19日(水)ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城に於いて、令和7年度永年勤続医療従事者表彰式が行われた。

同表彰式は会員が開設する医療機関及び医師会に20年勤務する医療従事者に対して行うもので、当日は玉城信光沖縄県医師会代議員会議長、来賓に糸数公沖縄県保健医療介護部長のご臨席の元、会員施設から338名の方々が表彰された。

始めに、田名毅沖縄県医師会長から受賞者へ以下の通り激励の挨拶があった。

「本日ここに令和7年度沖縄県医師会永年勤続医療従事者表彰式を開催するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。本日、表彰を受けられる338名の皆様、誠にありがとうございます。また、昼間の業務等でお疲れのところ、沖縄県より糸数公保健医療介護部長をはじめ、玉城信光代議員会議長や地区医師会長、各施設長など、関係者の皆様にご臨席を賜り、心より感謝申し

上げます。今回、永年勤続の表彰を受けられる皆様、20年にわたるご尽力、誠にありがとうございます。日々、患者さんの笑顔のために尽くされ、地域の健康を支えてこられた皆様の歩みは、まさに尊敬に値するものであります。その誠実な姿勢と努力の積み重ねが、今日の地域医療を支える大きな力となっております。皆様のこれまでのご労苦に心から敬意を表するとともに、これからも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、近年の物価高騰は、国民生活のみならず、医療機関や介護施設の運営にも大きな影響を及ぼしております。診療報酬という公定価格のもとで、医薬品や医療材料、人件費、光熱費など多くの経費を賄わねばならず、価格転嫁ができない厳しい状況が続いております。

一方で、今年には団塊の世代がすべて75歳以上となり、2040年には団塊ジュニア世代も高齢期を迎えます。とりわけ沖縄県は全国でも高齢化の伸び率が極めて高く、地域における医療

と介護の連携をこれまで以上に強化し、病院や診療所、介護施設、在宅医療、地域包括支援センターが一体となって、住み慣れた地域で安心して暮らせる体制を整えることが、喫緊の課題となっております。このような時代の転換期にあつてこそ、持続可能な医療・介護提供体制の確立に向け、県医師会としても引き続き全力で取り組んでまいります。

本日表彰を受けられる皆様の豊かな経験は、その歩みを導く確かな力であり、今後の地域医療の発展を支える貴重な財産であります。どうか引き続き、地域の健康を守る大きな力としてお力添えを賜りますようお願い申し上げます。結びに、表彰を受けられた皆様の今後ますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げ、私の挨拶といたします。本日は、誠におめでとうございます。」

引き続き、田名会長より各施設の被表彰代表者へ表彰状の授与が行われた。その後、糸数公沖繩県保健医療介護部長より、以下のように来賓の挨拶があった。

「はいさい、ぐすーよー、ちゅーうがなびら。令和7年度永年勤続医療従事者表彰を受けられました皆様、誠におめでとうございます。長年に亘り、医療現場において職務に精励され、県民の健康を守り続けていただいていることに心から感謝を申し上げます。職務を全うする中では、大変な御苦労があったものと拝察いたします。今後とも、これまでに培った経験を活かしながら、地域において指導的な役割を果たし、後進の模範的な存在でおられることを期待して

おります。

さて、県では五疾病・六事業、在宅医療及び医療従事者の養成・確保などに関する施策を定めた第八次沖繩県医療計画のもと、地域医療の充実を進めるとともに、これから始まる新たな地域医療構想の策定を通じて、入院から外来・在宅・医療介護連携まで一体的な医療連携体制を構築し、地域包括システムのさらなる深化を目指してまいります。本県の取組の推進にあたりましては、医療の現場でご活躍されている皆様との連携が、必要不可欠なものと考えておりますので、なお一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、永年勤続医療従事者表彰を受けられました皆様の御健勝と御活躍、並びに沖繩県医師会の益々のご発展を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。ゆたさるぐとううにげーさびら。いっぺーにふえーでーびる。」

引き続き受賞者を代表し与那原中央病院看護師の古川由美子さんから以下の通り謝辞が述べられた。

「本日は永年勤続医療従事者表彰を賜り、田名毅県医師会会長をはじめとする多くの皆様から温かいお言葉を頂戴し、誠に嬉しく光栄に存じます。

私は看護学校を卒業後、約10年間、総合病院で勤務しておりましたが、諸事情により数年看護職から離れておりました。しかし、離れている間に再び看護に携わりたいという思いが強くなり、与那原中央病院に就職することになり



ました。そこから20年と長きにわたり看護師として従事できたのは、与那原中央病院の山里将浩院長をはじめとするスタッフのおかげだと思っております。

当院は170床の中規模病院で、他部門のスタッフとのコミュニケーションも取りやすく、働きやすい環境です。当院看護部の理念である「患者様に喜ばれる看護」をめざし、先輩や後輩の助けを借りながら、忙しい日々ですがやりがいを感じております。私は昨年より回復期病棟の師長となりました。病棟スタッフ一同で患者様のために看護を行い、より良い病棟作りに努めてまいりたいと考えております。

最後に、沖縄県医師会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げるとともに、ご来賓のご活躍をお祈り申し上げ、受賞者代表のあいさつとさ

せていただきます。本日は誠にありがとうございました。』

皆様方のご協力により表彰式は予定より早く終了することができ、懇親会の時間を長めに確保することができた。玉城信光代議員会議長の大きな乾杯のご発声により懇親会が始まった。今回の表彰式に出席された被表彰者は131名、随行者225名、来賓・役員4名の計360名と大賑わいであり食事もおぼろげ完食であった。施設ごとに表彰者の慰労及び今後の活躍を願い、施設長や職員と一緒に舞台上で写真を撮るなど、楽しいひと時を過ごせた。今後もっと参加者が増え、多くの人たちと交流できるように、是非各施設長から職員への参加のお声掛けをお願いしたい。

